

技能		知識・理解		数学的な考え方		算数への 関心・意欲・態度		
A 数と計算	分数の乗法及び除法の計算をするなどの技能を身に付けている。		分数についての感覚を豊かにするとともに、分数の乗法及び除法の意味について理解している。		分数の計算などについての知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりしている。		分数の計算の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
	・分数の乗法及び除法の計算ができる。		・乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解している。		・分数の乗法及び除法の計算の仕方を考えている。		・分数の乗法及び除法の意味を整数や小数の計算の意味と関連付けて考えようとしている。	
			・分数の乗法及び除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。		・逆数を用いて除法を乗法の計算としてみたり、整数や小数の乗法や除法を分数の場合の計算にまとめたりしている。		・分数の乗法及び除法の計算の仕方を、整数や小数の計算に関連付けて考えようとしている。	
							・分数の乗法及び除法の計算に、乗法及び除法の性質が有効に働いていることのよさに気付いている。	
	・小数及び分数の基本的な計算の技能に習熟している。		・小数及び分数の計算の意味について理解している。		・小数及び分数の計算を生活や学習に活用することについて考えている。		・小数及び分数の計算を生活や学習に活用しようとしている。	

B 量と測定	およその面積や円の面積を求めたり、角柱や円柱の体積を求めたり、速さを求めたりするなどの技能を身に付けている。		面積や体積、速さについての感覚を豊かにするとともに、速さの意味、メートル法の仕組みなどについて理解している。		およその面積、円の面積、角柱や円柱の体積の求め方を考えることなどを通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりしている。		およその面積、円の面積、角柱や円柱の体積や速さについて考察処理したり、論理的に考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
	・身の回りにある形について、その概形をとらえ、およその面積などを求めることができる。		・身の回りにあるものの面積や体積の大きさの見当を付けることができるなど、面積や体積の大きさについての豊かな感覚をもっている。		・身の回りにある様々な図形の面積などを求めるために、その概形をとらえて、測定しやすい図形とみたり、測定しやすい図形に分けたりすることを考えている。		・身の回りにある図形について、その概形をとらえて、およその面積を求めようとしている。	
			・身の回りにある図形について、その概形をとらえることでおよその面積を求めることができることを理解している。					
	・円の面積を公式を用いて求めることができる。		・必要な部分の長さを用いることで、円の面積は計算によって求めることができることを理解している。		・円の面積の求め方を考えている。		・円の中に1cm ² の正方形が幾つあるか数えたり、円を分割して平行四辺形のように変形したりする活動の楽しさに気付いている。	
							・円の面積の公式を導きだそうとしている。	
	・角柱や円柱の体積を公式を用いて求めることができる。		・必要な部分の長さを用いることで、角柱や円柱の体積は計算によって求めることができることを理解している。		・角柱や円柱の体積の求め方を考えている。		・角柱や円柱の体積の公式を導きだそうとしている。	
	・(速さ)=(長さ)÷(時間)を用いて、長さや時間から速さを求めたり、速さと時間から長さを求めたり、長さや速さから時間を求めたりすることができる。		・速さは単位量当たりの大きさとして表すことができることを理解している		・速さの求め方を考えている。		・速さを、単位量当たりの大きさなどを用いて数値化したり、実際の場面と結び付けて、生活や学習に活用したりしようとしている。	
		・1時間でそえたとき、数値が大きい方が速いととらえるなど、速さの量の大きさについての豊かな感覚をもっている。						
・いろいろな量の測定値を適切な単位を用いて表すことができる。		・メートル法の単位の仕組みについて理解している。		・メートル法の単位の仕組みを活用し、新しい単位に出会ったときも類推して量の大きさを考えている。		・身の回りで使われている量の単位を見付け、既習の単位との関係を進んで調べようとしている。 ・「m」「c」「k」などの接頭語が共通に用いられているというメートル法の単位の仕組みのよさに気付いている。		

C 図形	縮図や拡大図、対称な図形を構成するなどの技能を身に付けている。		縮図や拡大図、対称な図形についての感覚を豊かにするとともに、それらの意味について理解している。		縮図や拡大図、対称な図形についての観察や構成などを通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりしている。		縮図や拡大図、対称な図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。	
	・方眼紙のます目を用いたり、対応する辺の長さや角の大きさをういたりして、縮図や拡大図を作図することができる。		・縮図や拡大図について理解している。		・縮図や拡大図を活用して、実際には測定しにくい長さの求め方を考えている。		・身の回りから、縮図や拡大図を見付けようとしている。	
	・線対称な図形や点対称な図形を作図したり、構成したりすることができる。		・縮図や拡大図では、対応する角の大きさはすべて等しく、対応する辺の長さの比はどこも一定であることを理解している。		・対称という観点から既習の図形を見直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。		・縮図や拡大図を作図したり、構成したりしようとしている。	
			・線対称な図形や点対称な図形の意味や性質について理解している。				・実際には測定しにくい長さを縮図や拡大図を用いると解決できるというよさに気付いている。	
			・身の回りから線対称な図形や点対称な図形を見付けたり、その特徴をとらえたりするなど、図形についての豊かな感覚をもっている。				・身の回りから、対称な図形を見付けようとしている。	
							・対称な図形を作図したり、構成したりしようとしている。 ・均整のとれた美しさ、安定性など対称な図形の美しさに気付いている。	

D 数量 関係	文字を用いて式に表したり,起こり得る場合を調べたりするなどの技能を身に付けている。	比,比例や反比例の関係,資料の平均,度数分布を表す表やグラフについて理解している。	数量の関係を特徴を,式,表,グラフを用いて調べるなどを通して,日常の事象について論理的に考え表現したり,そのことを基に発展的,統合的に考えたりしている。	比,比例,平均の性質や関係などに着目して考察処理したり,論理的に考えたりすることの楽しさやよさに気づき,進んで生活や学習に活用しようとしている。
	・二つの数量の関係を調べ,比で表すことができる。	・比について理解している。	・比を割合と関連付けて考えている。	・身の回りから,比を見付けようとしている。
	・比例の関係にある二つの数量の関係を,式,表,グラフに表すことができる。	・比例の関係について理解している。	・比例の関係という観点から,伴って変わる二つの数量の関係について考えている。	・二つの数量を共通の基準を用いて比較するという比のよさに気づき,進んで生活や学習に活用しようとしている。 ・身の回りの伴って変わる二つの数量の中から比例の関係にあるものを見付けようとしている。
	・数量を表す言葉や□,△などの代わりに,a,xなどの文字を用いて式に表したり,文字に数を当てはめて調べたりすることができる。	・数量を表す言葉や□,△などの代わりに,a,xなどの文字を用いて式に表すことを理解している。	・式,表,グラフを用いて,比例の関係の特徴を調べている。	・比例の関係をj用いて,問題を解決しようとしている。
	・資料の平均や散らばりを調べ,数直線やグラフなどに表現することができる。	・資料の平均について理解している。	・文字には整数だけでなく,小数や分数も当てはめることができることを用いて数の範囲を拡張して考えている。	・簡潔に表すことができるなど,a,xなどの文字を用いて式に表すことのよさに気づき,用いようとしている。
	・集団の特徴を表す値として平均を用いることができる。	・平均が同じでも,資料の散らばりによって資料の特徴が異なる場合があることを理解している。	・資料の平均や散らばりをj用いて集団の特徴を考えている。	・集団の特徴を表す値として平均を用いるよさに気づき,身の回りにある事柄について統計的に考えようとしている。
	・度数分布を表す表やグラフをかいたり読み取ったりすることができる。	・度数分布を表す表やグラフは,資料全体の分布の様子や特徴を分かりやすくするために用いることを理解している。		
	・具体的な事柄について,落ちや重なりがないように,起こり得る場合を順序よく整理して調べることがjできる。	・起こり得る場合を落ちや重なりがないように調べるには,ある観f点に着目したり,図や表などにかき表したりするとよいことを理解している。	・具体的な事柄を整理する際,落ちや重なりがないように,図や表を適切に用いたり,名前を記号化して端的に表したりして,順序よく筋道立てて考えている。	・具体的な事柄に即して,図,表などを用いて表すなどの工夫をしながら,落ちや重なりがないように,順序よく調べていこうとしている。